

## <相談日・相談時間>

毎週 月・水・木・金曜日 午前9時～午後4時まで  
(上記以外の曜日と祝日並びに年末年始は、休みです)

## <所在地>

愛知県蒲郡市港町 17 番 17 号

蒲郡市<sup>いのち</sup>生命の海科学館 1 階



## <連絡先>

電話 0533-95-3100

相談は、電話でも応じますが、面談をご希望の方は、できるだけ事前に電話をしてからお越しください。

- ※ 蒲郡市子ども・若者相談窓口は、蒲郡市教育委員会生涯学習課青少年センターが運営しています。
- ※ 生命の海科学館は火曜日が休館日となっています。
- ※ 当相談窓口から電話をかけると、青少年センターの電話番号(0533-66-1168)が表示される場合があります。あらかじめご了承ください。

みなさんの相談をお待ちしています

# 蒲郡市子ども・若者相談窓口

## 子ども・若者相談窓口って何？

自立に困難を抱える子ども・若者一人一人に寄り添い、適切な支援・相談機関の紹介、情報の提供や助言を行う蒲郡市の機関です。

ニート・ひきこもり、不登校、非行に関する困りごとやいじめなど様々な困難に対して、必要に応じて、教育、福祉、雇用など各分野に支援を依頼し、就労・就学に結びつくような対応に努めます。

## どんな相談ができるの？



「就労・就学の不安」「対人関係」「生き方の不安」などの悩み、「不登校」「高校・大学の中退」「ニート」「ひきこもり」「非行に関する困りごと」や「いじめ」など、どんな相談でもお受けします。

## 誰でも相談に乗ってもらえるの？

蒲郡市に在住、在学のおおむね40歳未満の方が対象です。  
(小中学生、高校生、大学生も対象です) **相談は無料です。**

本人、ご家族、親戚、学校、地域の支援団体など、どなたからの相談にも応じます。どこに相談してよいか分からない方は、まず、0533-95-3100に電話をしてみてください。

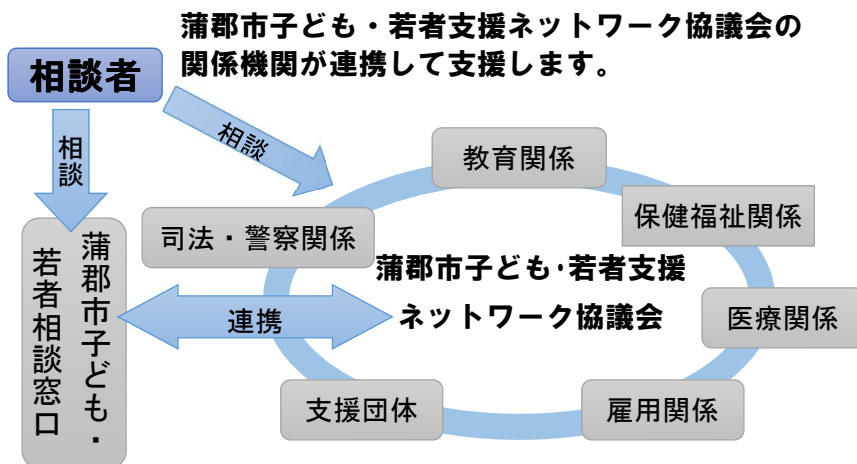
蒲郡市教育委員会

「こんなことを相談してもいいの・・・?」という心配はいりません。どんなことでも気軽にご相談ください。解決の方法を一緒に考えましょう。



**思い切って一步を踏み出してみよう！  
変化は少しずつですが、きっと変わるはずです**

まずは、相談窓口 **0533-95-3100**へお電話ください。



**Q 相談に対しては、どのように対応しているのですか。**

**A** 相談窓口では相談内容をお聞きして、必要な情報を提供したり、助言をしたりするほか、適切な専門機関への橋渡しをしたり、同行支援などを行います。

**Q どのような機関が支援してくれるのですか。**

**A** お話を伺う中で、他機関を紹介したり、連携して支援する場合があります。支援の中核となる機関は、がまごおり若者サポートステーションで、就労に向けて、仕事体験、各種セミナー等を実施しています。

また、東三河セーフティネットの家族環境支援士による支援も可能です。

その他、子ども・若者支援ネットワーク協議会に参加している、福祉、保健、教育、雇用等の公的機関・民間機関が支援を担当します。

**Q 相談の秘密は守られるの。**

**A** 個人情報を厳重に管理するとともに、他の関係機関と連携する場合は、相談者から同意を得た上で取り扱います。

**Q どんな相談が多いのですか。**

**A** 小中学生の不登校、高校生の進路変更、ひきこもりの相談が多いです。

**Q 近所に心配な子がいるが。**

**A** 本人やその家族が困っているようではないが、周りで見ていると心配だということがありましたら、ぜひその情報を提供してください。その子へ支援を届けるための方法を一緒に考えていきたいです。ぜひ力を貸してください。

**Q 中学までは無事卒業しました。高校が自分に合わなくて、ずっと家にいます。就職のことを考えると、せめて高校くらいは卒業したいと思っています。**

**A** 今、通っている高校がどうしても合わないという場合や、留年が確定したという場合でも、慌てて退学しないで、まず相談にお越しください。

高校には全日制、定時制、通信制があります。また、高校ではありませんが、通信制高校を3年間で卒業できるようサポートしてくれるサポート校、高卒認定試験の受験対策をしてくれる予備校、というものもあります。様々な学校がありますので、自分に一番合うところを探してみてください。

新しい学校に転入すると、現在通っている学校の単位が引き継げる場合もあります。どうか高校を退学する前に、相談をお願いします。

**Q 本人が相談に行けません。**

**A** ご本人がひきこもりだと、相談のために出かけるのはとても難しいことだと思います。しかし、ひきこもり期間が長期に渡ると回復にかかる時間も長くなる傾向があり、早目の相談が求められるのも事実です。

当窓口ではご家族の方からの相談も受け付けております。ご家族だけで悩んでいると行き詰まってしまうこともあるかと思われます。相談することで、課題が整理され、解決の糸口が見つかることもありますので、どうぞお気軽にご相談ください。